

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025年 第20週（5月12日～5月18日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6人	類型 患者 4人、 無症状病原体保有者 2人 血清型 O157 2人、O26 1人、O103 1人、 O159 1人、不明 1人 推定感染地域 国内 2人 病型 肺炎型 4人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 血清群 G群 病型 その他 早期顕症Ⅰ期 2人、 早期顕症Ⅱ期 4人、 無症状病原体保有者 3人 年齢階級 0歳 1人、1歳 1人、2歳 2人、 3歳 1人、6歳 1人、7歳 3人、 8歳 4人、9歳 7人、 10歳代 69人、30歳代 5人、 40歳代 3人、50歳代 4人、 70歳代 1人、80歳代 1人
四類感染症	E型肝炎	2人	
	レジオネラ症	4人	
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人	
	後天性免疫不全症候群	1人	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	6人	
	梅毒	9人	
	百日咳	103人	

〈百日咳の患者情報〉

百日咳は103人の報告（第20週以前に診断された患者を含む）があり、前週（55人）と比較して増加した。年齢階級別の患者数を患者の診断された週ごとに見ると、第20週は患者89人のうち、10～14歳が39人で最も多く、全体の約44%であった（図1）。

（参考）埼玉県感染症対策課 最新の感染症情報（URL：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/news/widespread-infectious-disease.html>）

〈定点把握疾患の患者情報〉

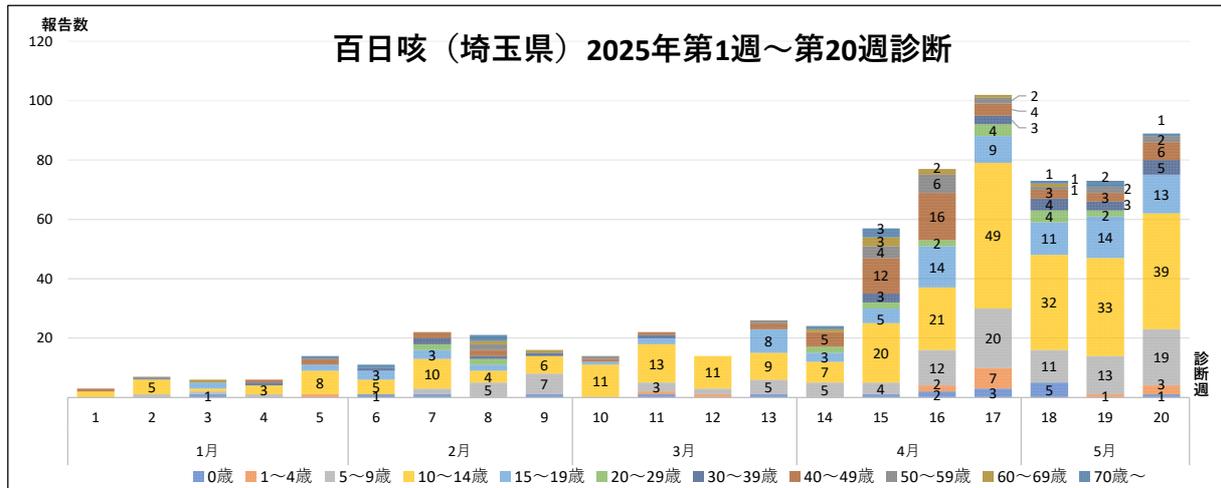
伝染性紅斑（1.68→3.07：図2）の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、県内17保健所管内中、14保健所管内で前週の値を上回り、特に東松山（3.33→10.33）保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、3～5歳の報告が多く、全体の約47%であった。**水痘**（1.43→1.07：図3）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、過去4年間の同時期と比較すると多い状況が続いている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（3.13→5.18：図4）の定点当たり報告数は、第18週以降、2週連続で前週の値を下回ったが、今週は前週と比較して増加した。保健所別では、狭山（3.10→6.90）、さいたま市（2.36→5.75）、春日部（8.67→12.00）、川口市（2.13→5.25）保健所管内で大きく増加した。**新型コロナウイルス感染症**（1.16*→1.19：図5）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における**入院患者**の報告は13人（前週14人）であった。**急性呼吸器感染症**（64.53*→75.56：図6）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎**10人、**流行性角結膜炎**23人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**無菌性髄膜炎**1人、**マイコプラズマ肺炎**6人、**感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）**1人の報告があった。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

<注目すべき疾患（百日咳）>

図1 百日咳の年齢階級別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

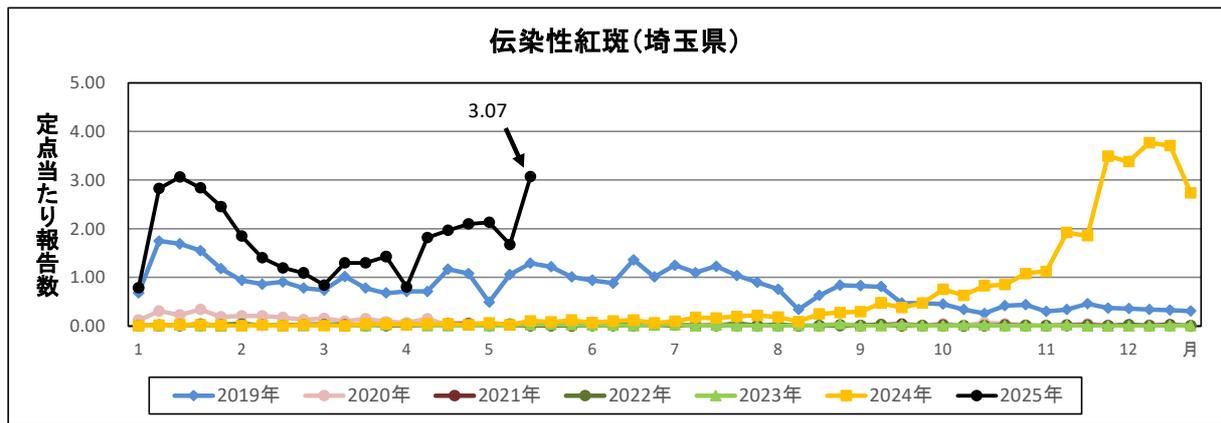


図3 水痘の定点当たり報告数の推移

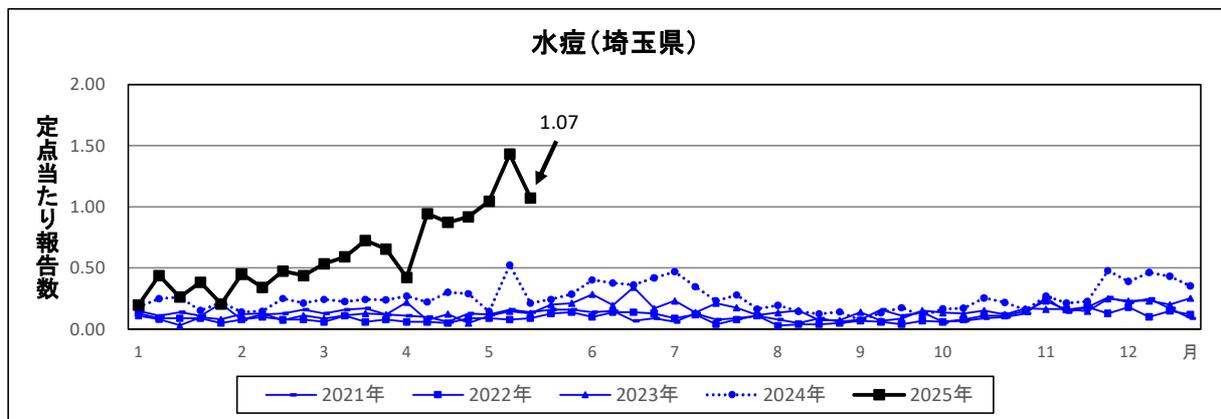


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

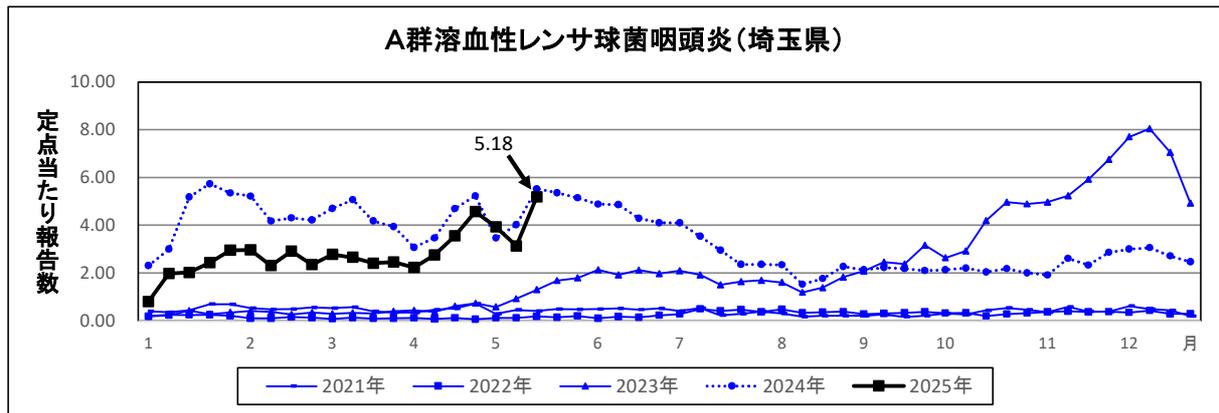


図5 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

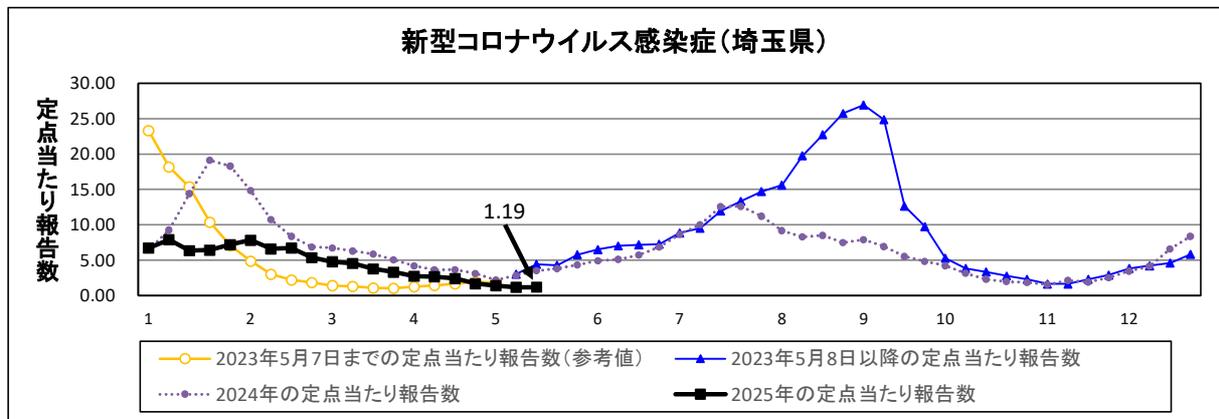
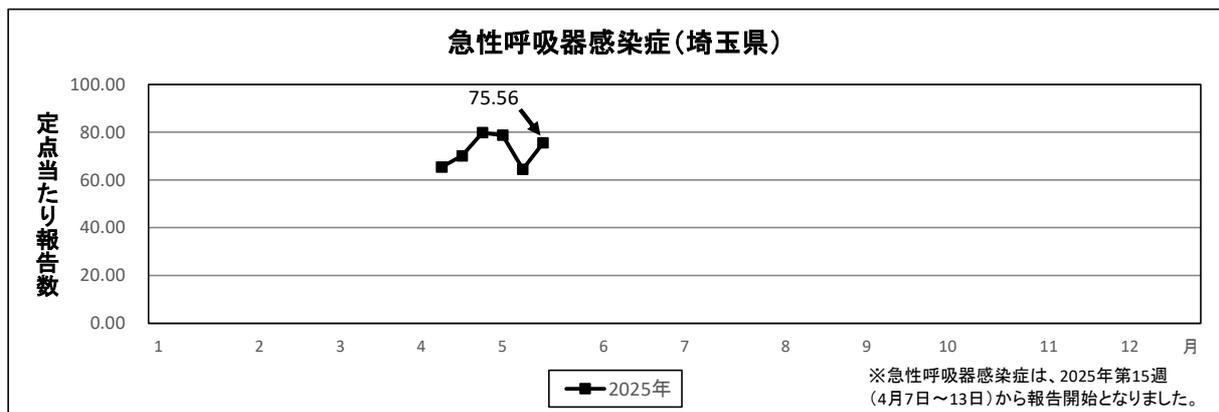


図6 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第20週)

(2025年5月20日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	32			
四類感染症					
E型肝炎	2	13	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	4	32
つつが虫病		1	レプトスピラ症		
デング熱		1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		4	侵襲性肺炎球菌感染症	6	82
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘(入院例に限る)		6
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	36	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	9	175
急性脳炎		15	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症		1	破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	28	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2
後天性免疫不全症候群	1	16	百日咳	103	677
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	12	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2025年4月分)

2025年4月の届出総数は、患者38人、無症状病原体保有者16人の計54人であった。前月と比べると患者数は増加し、無症状病原体保有者数は減少した。過去1年と比べると、患者数は同水準であり、無症状病原体保有者数は少なかった。推定感染地域は国内21人、国外3人、不明30人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年4月～2025年4月)

	2024年*										2025年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計**	
総計	54	51	61	61	48	59	64	58	76	64	51	56	54	225	
年齢階級															
10歳未満	2	2	1	0	0	1	1	1	1	2	4	2	1	9	
10歳代	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	1	
20歳代	7	6	3	13	6	6	4	4	11	7	5	7	3	22	
30歳代	3	2	6	2	5	4	6	0	6	5	2	3	2	12	
40歳代	5	4	5	3	2	0	6	5	4	1	5	8	5	19	
50歳代	6	5	8	9	6	8	9	9	7	13	6	3	10	32	
60歳代	3	7	9	5	9	8	7	4	9	6	7	7	4	24	
70歳代	11	9	10	14	9	17	7	12	10	13	8	11	7	39	
80歳代	10	12	13	12	7	9	17	18	17	8	12	10	10	40	
90歳以上	6	3	6	3	4	6	5	5	9	9	1	5	12	27	
性															
男	28	27	37	43	29	39	36	32	44	43	30	33	38	144	
女	26	24	24	18	19	20	28	26	32	21	21	23	16	81	
類型															
患者	37	40	43	37	33	37	40	35	43	33	29	34	38	134	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
無症状病原体保有者	17	11	18	24	15	22	23	23	33	30	22	22	16	90	
病型															
肺結核	22	24	32	24	17	26	29	24	30	22	22	26	27	97	
肺結核及びその他の結核	5	4	1	6	5	4	4	3	5	4	3	2	6	15	
その他の結核	10	12	10	7	11	7	7	8	8	7	4	6	5	22	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
無症状病原体保有者	17	11	18	24	15	22	23	23	33	30	22	22	16	90	
推定感染地域															
国内	34	29	35	31	25	28	38	40	50	38	28	33	21	120	
国外	6	6	9	9	2	3	3	4	6	10	4	5	3	22	
不明	14	16	17	21	21	28	23	14	20	16	19	18	30	83	

*:2024年の届出数は暫定値

** :2025年1月からの累積届出数

4月に診断された54人を病型別にみると、肺結核は30歳以上の年齢階級から計27人の報告があり、60歳代以上が19人で約70%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年4月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	27	6	5	0	16	54
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	0	0	0	0	3	3
30歳代	1	0	1	0	0	2
40歳代	2	0	0	0	3	5
50歳代	5	0	1	0	4	10
60歳代	1	1	0	0	2	4
70歳代	4	1	0	0	2	7
80歳代	6	2	2	0	0	10
90歳以上	8	2	1	0	1	12

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第20週

5月12日~5月18日)

保健所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	症	症																		
全 県	報告数 92 208 定点当たり 0.53 1.19	13,223	38	62	570	846	118	19	338	55	4	9	10	23	-	1	6	-	1	-	13		
朝 霞	報告数 20 41 定点当たり 1.25 2.56	1,007	2	1	59	89	25	3	27	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1		
鴻 巣	報告数 5 15 定点当たり 0.42 1.25	1,361	3	9	54	62	5	-	20	3	1	1	-	6	*	*	*	*	*	*	*		
東 松 山	報告数 6 3 定点当たり 1.50 0.75	448	-	-	6	48	2	-	31	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
秩 父	報告数 3 2 定点当たり 0.75 0.50	103	-	-	9	-	1	1	2	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-		
本 庄	報告数 - 1 定点当たり - 0.25	179	-	2	2	-	5	-	25	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
熊 谷	報告数 3 17 定点当たり 0.33 1.89	680	-	2	10	42	3	-	43	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
加 須	報告数 - 7 定点当たり - 1.40	142	1	1	5	-	-	-	7	-	-	1	-	2	-	-	3	-	-	-	-	7	
春 日 部	報告数 5 4 定点当たり 0.83 0.67	501	2	16	36	42	5	-	16	3	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 9 11 定点当たり 1.00 1.22	1,269	8	8	40	29	3	4	29	3	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 2 5 定点当たり 0.50 1.25	415	2	2	10	57	1	-	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草 加	報告数 7 19 定点当たり 0.64 1.73	537	1	-	28	46	3	1	13	5	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 8 30 定点当たり 0.62 2.31	812	5	6	69	50	8	-	44	4	-	-	10	3	-	-	1	-	-	-	-	-	
南 部	報告数 4 3 定点当たり 1.00 0.75	444	1	-	3	7	3	4	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
川 越 市	報告数 5 4 定点当たり 0.56 0.44	717	-	2	22	16	8	3	23	7	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 1 3 定点当たり 0.13 0.38	620	1	-	14	33	10	1	9	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川 口 市	報告数 6 18 定点当たり 0.43 1.29	1,002	1	1	42	43	8	-	10	2	1	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
さいたま市	報告数 8 25 定点当たり 0.19 0.58	2,986	11	12	161	282	28	2	27	13	-	2	-	6	-	1	-	-	-	-	-	4	
		69.44	0.39	0.43	5.75	10.07	1.00	0.07	0.96	0.46	-	0.07	-	0.67	-	1.00	-	-	-	-	-	4.00	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

5月 20日 13:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				年齢別		(2025年第20週 5月12日～5月18日)	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～			
インフルエンザ #1	92	-	1	6	-	3	5	2	6	2	4	5	18	20	6	4	6	2	1	-	1			
新型コロナウイルス感染症	208	2	7	4	1	2	-	2	3	3	-	-	6	15	37	15	25	37	20	12	17			
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～											
急性呼吸器感染症	13,223	1,025	5,272	2,633	1,305	487	430	553	444	370	265	248	191											
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～									
RSウイルス感染症	38	2	8	14	7	3	1	1	-	1	1	-	-	-	-									
咽頭結膜熱	62	1	7	22	9	7	6	1	5	-	2	1	1	-	-									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	570	-	2	7	18	38	54	55	84	86	76	48	81	1	20									
感染性胃腸炎	846	12	71	120	74	76	71	73	52	47	56	42	89	18	45									
水痘	118	-	2	3	5	7	2	3	21	20	7	20	27	1	-									
手足口病	19	-	3	8	3	2	-	-	1	-	2	-	-	-	-									
伝染性紅斑	338	-	3	23	18	49	49	60	30	39	26	27	13	-	1									
突発性発しん	55	1	18	27	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-									
ヘルパンギーナ	4	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-									
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	-	2	1	2	1	2	1	-	-	-	-									
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～				
急性出血性結膜炎	10	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	3	-	-	2	-	-	-	1			
流行性角結膜炎	23	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	4	7	2	4	2	1				
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～							
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			
マイコプラズマ肺炎	6	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-			
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
新型コロナウイルス感染症(入院)	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	1	1	7							

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第17週 (4月21日～4月27日)

令和7年5月21日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,850):インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.38)、秋田県(3.24)、岩手県(2.84)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は89例と前週と比較して減少した。都道府県別では31都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(7例)、1～9歳(25例)、10代(7例)、20代(4例)、30代(2例)、40代(2例)、50代(1例)、60代(3例)、70代(12例)、80歳以上(26例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(3.11)、山梨県(2.74)、山形県(2.56)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は578例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(18例)、1～9歳(25例)、10代(5例)、20代(7例)、30代(17例)、40代(6例)、50代(29例)、60代(55例)、70代(142例)、80歳以上(274例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,823)定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(105.51)、岩手県(95.86)、山形県(87.08)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,358):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.06)、新潟県(1.80)、宮崎県(1.67)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.10)、福井県(1.00)、宮崎県(1.00)、岩手県(0.96)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は富山県(5.34)、茨城県(4.87)、埼玉県(4.63)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(17.38)、大分県(15.44)、香川県(12.54)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は奈良県(1.75)、京都府(0.28)、青森県(0.26)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は栃木県(4.56)、群馬県(4.36)、山形県(3.54)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位2位は岡山県(0.11)、滋賀県(0.09)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮城県(0.27)、島根県(0.27)、岡山県(0.18)、奈良県(0.17)である。

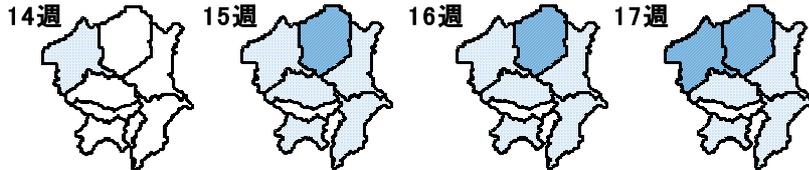
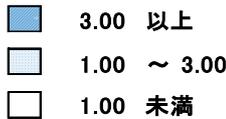
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は京都府(1.33)、福井県(1.17)、鳥取県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。30都道府県から84例報告があり、年齢群別では0歳(7例)、1～4歳(23例)、5～9歳(46例)、10代(5例)、30代(1例)、70歳以上(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年第17週(4月21日～4月27日)、2025年第18週(4月28日～5月4日):通巻第27巻第17・18合併号 より

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、栃木県(4.56)、群馬県(4.36)からの報告が非常に多い。

伝染性紅斑



		2025年 17週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	4,209	1,239	51	52	43	186	201	372	334
	定点当たり	1.09	1.06	0.75	1.11	0.96	1.07	1.11	0.89	1.40
新型コロナウイルス感染症	報告数	5,360	1,449	146	73	59	295	271	341	264
	定点当たり	1.39	1.24	2.15	1.55	1.31	1.70	1.50	0.82	1.11
急性呼吸器感染症	報告数	237,731	82,448	5,147	4,959	3,887	13,822	13,126	24,415	17,092
	定点当たり	62.18	71.26	75.69	105.51	86.38	80.83	74.58	58.83	72.73
RSウイルス感染症	報告数	1,686	333	20	16	11	83	53	102	48
	定点当たり	0.72	0.46	0.53	0.59	0.44	0.76	0.45	0.39	0.34
咽頭結膜熱	報告数	923	230	17	6	7	52	33	80	35
	定点当たり	0.39	0.32	0.45	0.22	0.28	0.48	0.28	0.30	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,672	2,782	185	124	49	505	465	1,064	390
	定点当たり	2.83	3.86	4.87	4.59	1.96	4.63	3.97	4.03	2.79
感染性胃腸炎	報告数	19,774	5,757	358	188	291	904	704	2,280	1,032
	定点当たり	8.39	8.00	9.42	6.96	11.64	8.29	6.02	8.64	7.37
水痘	報告数	1,138	629	21	8	20	102	37	229	212
	定点当たり	0.48	0.87	0.55	0.30	0.80	0.94	0.32	0.87	1.51
手足口病	報告数	247	60	2	1	1	11	13	20	12
	定点当たり	0.10	0.08	0.05	0.04	0.04	0.10	0.11	0.08	0.09
伝染性紅斑	報告数	3,073	1,207	75	123	109	233	200	221	246
	定点当たり	1.30	1.68	1.97	4.56	4.36	2.14	1.71	0.84	1.76
突発性発しん	報告数	850	287	7	19	14	47	47	110	43
	定点当たり	0.36	0.40	0.18	0.70	0.56	0.43	0.40	0.42	0.31
ヘルパンギーナ	報告数	67	17	1	-	-	8	1	2	5
	定点当たり	0.03	0.02	0.03	-	-	0.07	0.01	0.01	0.04
流行性耳下腺炎	報告数	209	81	2	1	3	17	12	30	16
	定点当たり	0.09	0.11	0.05	0.04	0.12	0.16	0.10	0.11	0.11
急性出血性結膜炎	報告数	25	6	-	-	-	6	-	-	-
	定点当たり	0.04	0.03	-	-	-	0.14	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	630	233	70	11	11	22	34	25	60
	定点当たり	0.91	1.13	4.38	0.92	0.79	0.51	1.03	0.64	1.22
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	17	5	-	2	-	1	-	1	1
	定点当たり	0.04	0.06	-	0.29	-	0.08	-	0.04	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	133	17	-	1	4	7	-	1	4
	定点当たり	0.28	0.20	-	0.14	0.44	0.58	-	0.04	0.33
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	84	15	-	2	4	5	-	4	-
	定点当たり	0.18	0.17	-	0.29	0.44	0.42	-	0.16	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

全国・関東情報

第18週 (4月28日～5月4日)

令和7年5月21日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,828):インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.24)、秋田県(2.62)、香川県(2.25)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は73例と前週と比較して減少した。都道府県別では34都道府県から報告があり、年齢群別では1～9歳(15例)、10代(9例)、20代(3例)、30代(4例)、60代(9例)、70代(13例)、80歳以上(20例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(2.80)、長野県(2.05)、岐阜県(2.00)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は591例と前週と比較して増加した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(15例)、1～9歳(33例)、10代(5例)、20代(2例)、30代(7例)、40代(8例)、50代(24例)、60代(55例)、70代(150例)、80歳以上(292例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,803)定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は栃木県(89.43)、岩手県(84.91)、群馬県(81.44)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,337):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(1.50)、新潟県(1.40)、沖縄県(1.40)、鹿児島県(1.16)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.47)、鹿児島県(1.32)、島根県(1.27)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(5.50)、宮城県(4.20)、鳥取県(4.16)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(13.39)、山口県(12.58)、愛媛県(12.19)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は奈良県(0.67)、北海道(0.23)、鹿児島県(0.23)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は栃木県(4.48)、群馬県(3.72)、山形県(3.71)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は鹿児島県(0.16)、沖縄県(0.16)、島根県(0.09)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位2位は佐賀県(0.17)、福岡県(0.16)、沖縄県(0.16)である。

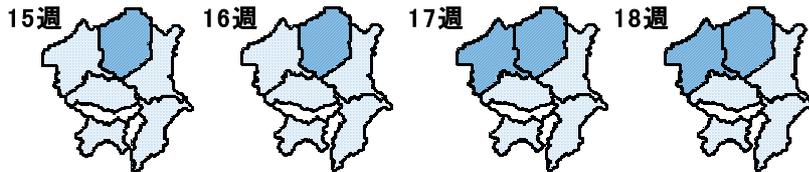
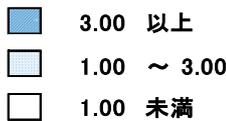
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.50)、青森県(1.17)、秋田県(0.88)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。33都道府県から121例報告があり、年齢群別では0歳(5例)、1～4歳(28例)、5～9歳(71例)、10代(16例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年第17週(4月21日～4月27日)、2025年第18週(4月28日～5月4日):通巻第27巻第17・18合併号 より

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、栃木県(4.48)、群馬県(3.72)からの報告が非常に多い。

伝染性紅斑



		2025年 18週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	3,039	756	25	24	29	161	128	234	155
	定点当たり	0.79	0.66	0.37	0.51	0.64	0.95	0.74	0.57	0.66
新型コロナウイルス感染症	報告数	4,227	1,023	81	59	54	241	150	255	183
	定点当たり	1.10	0.89	1.19	1.26	1.20	1.43	0.86	0.62	0.78
急性呼吸器感染症	報告数	214,921	70,621	4,187	4,203	3,665	13,019	10,821	20,711	14,015
	定点当たり	56.51	61.95	61.57	89.43	81.44	77.96	64.41	50.03	60.67
RSウイルス感染症	報告数	1,160	219	23	11	14	28	43	58	42
	定点当たり	0.50	0.31	0.61	0.41	0.56	0.27	0.38	0.22	0.30
咽頭結膜熱	報告数	919	188	19	1	13	31	24	68	32
	定点当たり	0.39	0.27	0.50	0.04	0.52	0.30	0.21	0.26	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,350	2,103	209	95	46	417	294	768	274
	定点当たり	2.29	2.98	5.50	3.52	1.84	3.97	2.63	2.95	1.97
感染性胃腸炎	報告数	15,672	4,117	260	113	183	718	441	1,699	703
	定点当たり	6.71	5.83	6.84	4.19	7.32	6.84	3.94	6.53	5.06
水痘	報告数	939	475	14	3	3	112	39	177	127
	定点当たり	0.40	0.67	0.37	0.11	0.12	1.07	0.35	0.68	0.91
手足口病	報告数	220	67	1	-	-	19	10	25	12
	定点当たり	0.09	0.09	0.03	-	-	0.18	0.09	0.10	0.09
伝染性紅斑	報告数	2,712	965	78	121	93	221	123	183	146
	定点当たり	1.16	1.37	2.05	4.48	3.72	2.10	1.10	0.70	1.05
突発性発しん	報告数	752	227	13	8	14	44	24	85	39
	定点当たり	0.32	0.32	0.34	0.30	0.56	0.42	0.21	0.33	0.28
ヘルパンギーナ	報告数	44	8	-	-	-	1	2	5	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.01	0.02	0.02	-
流行性耳下腺炎	報告数	171	50	2	1	2	4	7	27	7
	定点当たり	0.07	0.07	0.05	0.04	0.08	0.04	0.06	0.10	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	27	6	-	-	-	4	-	1	1
	定点当たり	0.04	0.03	-	-	-	0.11	-	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	537	218	66	28	6	16	28	15	59
	定点当たり	0.79	1.10	3.88	2.33	0.43	0.43	0.88	0.38	1.26
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	3	-	-	-	-	-	2	1
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	-	-	0.08	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	17	7	1	-	-	-	-	1	5
	定点当たり	0.04	0.08	0.08	-	-	-	-	0.04	0.42
マイコプラズマ肺炎	報告数	152	19	5	-	3	5	-	4	2
	定点当たり	0.32	0.22	0.38	-	0.33	0.42	-	0.16	0.17
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	121	14	-	2	6	2	-	2	2
	定点当たり	0.25	0.16	-	0.29	0.67	0.17	-	0.08	0.17

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

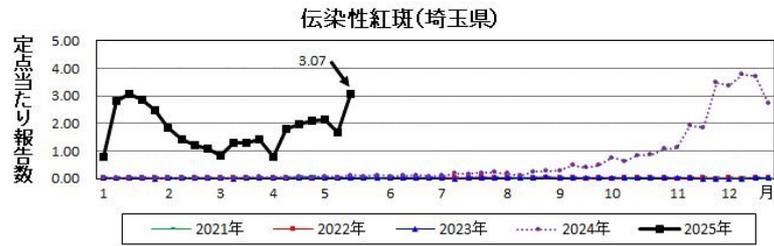
- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第14週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第15週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第16週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第17週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第18週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第19週](#)

感染症の流行状況 2025年 第20週

2025年第20週（5月12日～5月18日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は3.07で、前週と比較して大きく増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	↑	★★★★
急性呼吸器感染症	→	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★	急性出血性結膜炎	↑	★★
感染性胃腸炎	↑	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	↓	★★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい) *4.2025年第14週から定点医療機関の指定数に変更となりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン